

第108期 中間報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成30年9月30日



東洋埠頭株式会社

TOYO WHARF & WAREHOUSE CO., LTD.

(証券コード 9351)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、平成30年9月30日をもちまして第108期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、安定した配当政策を実施することを基本としております。この中間期の配当につきましては、既に決算短信で公表しておりますとおり、1株につき25円とさせていただき、11月30日からお支払いすることといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年11月

代表取締役社長

原 匡史

事業の概況

○事業の経過および成果

当中間期の荷動きは概ね堅調に推移しました。しかし、物流を取り巻く環境は、人手不足や原油価格の上昇に伴い、人件費や運送費、燃料費などのコストが増加しており、また自然災害が発生したことなどもあり、厳しい経営環境が継続しました。

このような経営環境の中、当社グループでは、グループ各社の連携を一層強化し、営業拡大、経営基盤の強化、社会的責任の向上に取り組んでまいりました。

国内総合物流事業は、合成樹脂、輸入青果物やコンテナなどの取扱い数量が増加したことから増収となりました。しかしながら、人手不足などにより作業費用や運送費用が増加しました。また、環境に配慮した施設への更新や設備の増強を推進したことから減価償却費が増加しました。これらにより収益が圧迫されました。

国際物流事業は、ロシアでの貨物の取扱い数量が増加しました。

この結果、営業収入は173億2百万円（前年同期比3億2千2百万円、1.9%の増収）、営業利益は9億2百万円（前年同期比1億6千6百万円、15.6%の減益）、経常利益は10億1千3百万円（前年同期比1億3千8百万円、12.0%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億5千8百万円（前年同期比1億3千5百万円、17.0%の減益）となりました。

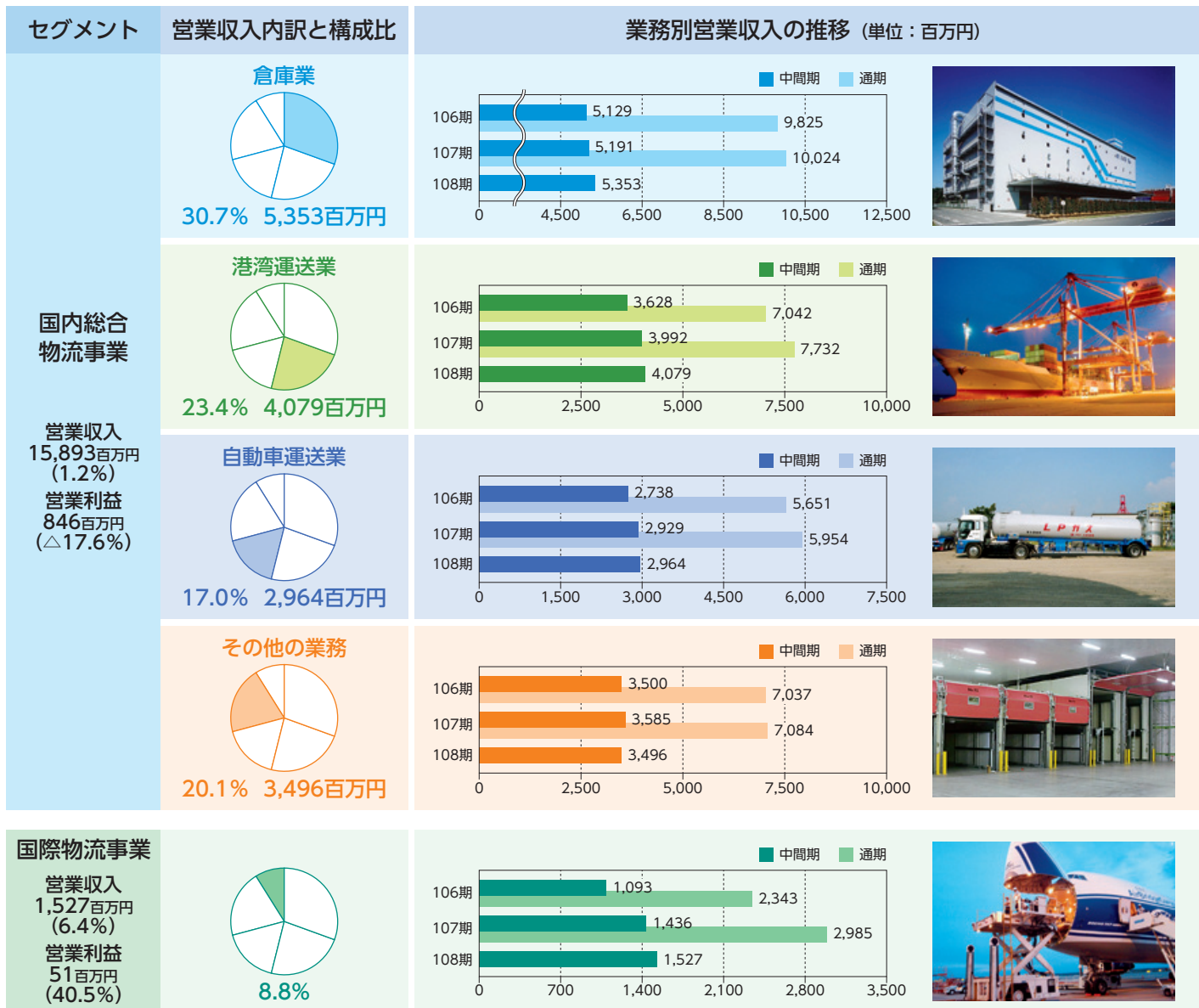
○第108期通期の業績予想

当社グループは、グループ各社の連携を一層強化し、営業の拡大に取り組んでまいります。

第108期の連結業績予想は、営業収入340億円、営業利益18億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億5千万円としています。9月に到来した台風21号による被害があったものの、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、当中間期においては、連結業績予想を変更していません。

当社グループは、営業基盤の拡充と物流品質の向上に向け、博多支店において青果物加工センターの増設、東扇島支店と志布志支店でのコンテナ貨物用の省エネ型荷役機器の増備や、川崎支店でのばら積み貨物用大型クレーンの制御盤更新を計画しております。また、老朽施設の更新、修繕を計画的に行ってまいります。これらにより、営業の拡大、品質の向上、業務の効率化、経営基盤の強化をより一層図り、企業価値の向上に努めてまいります。

セグメント別業務別の概況



※ () 内は前年同期比です。営業収入・営業利益は、セグメント間の取引を含んでおります。

業務内容と当中間期の概況

主要港及び交通至便な内地に、普通倉庫、冷蔵倉庫、青果物倉庫、危険品倉庫、サイロ、トランクルームなど、各種の倉庫を有しています。これらの施設を利用し、さまざまなニーズに対応した最適な物流サービスを提供しています。

倉庫業の営業収入は53億5千3百万円（前年同期比2.8%の増収）となりました。入出庫数量は184万トン（前年同期187万トン）、平均保管残高は28万トン（前年同期27万トン）でした。普通倉庫貨物は、合成樹脂が増加しましたが、紙類が減少しました。サイロ貨物は麦類が大きく減少しました。輸入青果物はバナナがフィリピンの生産回復により増加しました。冷蔵倉庫貨物は堅調に推移しました。

石炭、鉱石類、穀物類などの大量ばら積み貨物を大型港湾荷役機械で、迅速、確実な揚げ積み作業を行っています。また、大型のコンテナ船からの取り卸しから、シャーシへの積載、輸出時の船舶への積込まで総合的なコンテナターミナル運営を行っています。

港湾運送業の営業収入は40億7千9百万円（前年同期比1.9%の増収）となりました。

ばら積み貨物の取扱数量は243万トン（前年同期258万トン）でした。川崎地区で石炭、残土、雑穀類が大きく減少しました。コンテナ取扱数量は117千TEU（前年同期107千TEU）でした。新規航路開設により、川崎港での取扱いが増加したほか、志布志港も増加しました。

全国をカバーするネットワーク網を構築し、普通トラックによる輸送はもとより、定温車、コンテナシャーシ及び牽引車、トレーラー、特殊タンク車等々、輸送貨物に合わせた高水準のサービスを提供しています。お客様からのオーダーに基づき、いち早く配車を完了させ、各部門と連携をとりながらリードタイムを短縮し、個別配送や翌日配送、時間指定にも細かく対応しています。

自動車運送業の営業収入は29億6千4百万円（前年同期比1.2%の増収）となりました。木材、合成樹脂などの取扱いが増加しました。

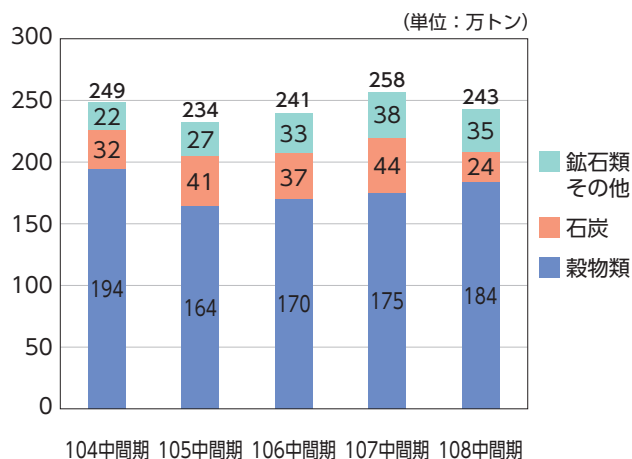
各種物流関連施設の賃貸、工場等の構内作業、通関、船舶代理店、保険代理店等、各種物流サービスに関連する業務を行い、お客様が本業に注力いただけるような物流関連のアウトソーシングにお応えしています。お客様それぞれの物流課題に対して、最適なソリューションを提案しています。

その他の業務の営業収入は34億9千6百万円（前年同期比1.8%の減収）となりました。ばら積み貨物の取扱い減少に伴い、埠頭施設収入が減少しました。

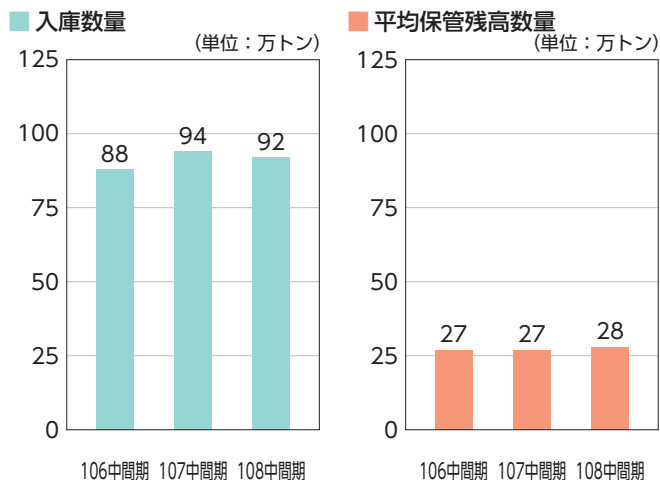
陸海空を組み合わせた国際複合一貫輸送を提供しています。輸出入に伴う通関・納税等さまざまな法令手続には、熟練した専門スタッフが対応します。当社は自社拠点を軸としつつ、国内外の幅広いパートナーとともにお客様に最適な物流を提案しています。

国際物流事業の営業収入は15億2千7百万円（前年同期比6.4%の増収）、営業利益5千1百万円（前年同期比40.5%の増益）となりました。ロシアでの通関業務、輸送業務が増加しました。

経岸貨物量



倉庫貨物取扱量



連結子会社の状況

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|----------------|-------------|-----------------------|--------------------------|
| 株式会社東洋埠頭青果センター | 100 百万円 | 当社の出資比率 100 % | 港湾運送業、倉庫業、通関業 |
| 株式会社東洋トランス | 100 | 同 100 | 航空貨物代理店業、国際複合一貫輸送業 |
| 東京東洋埠頭株式会社 | 50 | 同 100 | 一般貨物荷役業、特定労働者派遣事業 |
| 鹿島東洋埠頭株式会社 | 30 | 同 75.5 | 港湾運送業、一般貨物荷役業 |
| 志布志東洋埠頭株式会社 | 20 | 同 90 | 港湾運送業、一般貨物荷役業、自動車運送業、倉庫業 |
| 東永運輸株式会社 | 20 | 同 100 | 自動車運送業 |
| 〇〇〇東洋トランス | 1,000 万ルーブル | 機東洋トランスの出資比率 100 % | 倉庫業、国際複合一貫輸送業 |
| 〇〇〇TB東洋トランス | 145 | 同 100 | 通関業、輸送業 |

※ 特定完全子会社に該当する子会社はありません。

連結貸借対照表 (平成30年9月30日現在)

連結損益計算書 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

(単位：百万円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 6,332 | 流動負債 | 11,163 |
| 現金及び預金 | 1,557 | 営業未払金 | 2,966 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 3,958 | 短期借入金 | 5,135 |
| 原材料及び貯蔵品 | 167 | リース債務 | 12 |
| 前払費用 | 165 | 未払金 | 719 |
| その他 | 484 | 未払法人税等 | 168 |
| 貸倒引当金 | △ 0 | 設備関係支払手形 | 1,128 |
| | | その他 | 1,032 |
| 固定資産 | 33,044 | 固定負債 | 7,615 |
| 有形固定資産 | 24,421 | 長期借入金 | 5,390 |
| 建物及び構築物 | 13,080 | リース債務 | 14 |
| 機械及び装置 | 2,576 | 繰延税金負債 | 212 |
| 船舶及び車両運搬具 | 96 | 退職給付に係る負債 | 1,771 |
| 工具、器具及び備品 | 93 | 役員退職慰労引当金 | 8 |
| 土地 | 8,461 | 資産除去債務 | 55 |
| リース資産 | 25 | その他 | 162 |
| 建設仮勘定 | 87 | 負債合計 | 18,778 |
| 無形固定資産 | 131 | 純資産の部 | |
| リース資産 | 2 | 株主資本 | 18,509 |
| その他 | 128 | 資本金 | 8,260 |
| 投資その他の資産 | 8,491 | 資本剰余金 | 5,181 |
| 投資有価証券 | 6,737 | 利益剰余金 | 5,128 |
| 長期貸付金 | 105 | 自己株式 | △ 61 |
| 繰延税金資産 | 209 | その他の包括利益累計額 | 2,007 |
| その他 | 1,468 | その他有価証券評価差額金 | 2,037 |
| 貸倒引当金 | △ 29 | 為替換算調整勘定 | 149 |
| | | 退職給付に係る調整累計額 | △ 179 |
| 資産合計 | 39,376 | 非支配株主持分 | 81 |
| | | 純資産合計 | 20,598 |
| | | 負債純資産合計 | 39,376 |

(百万円未満切捨)

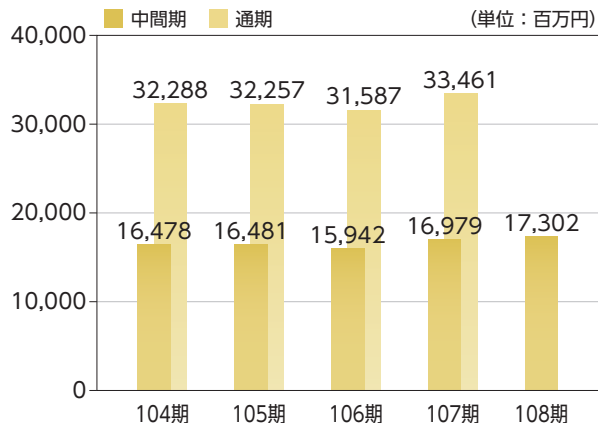
(単位：百万円)

| 科目 | 金額 | |
|-------------------------|-----|--------------|
| | 内訳 | 合計 |
| 営業収入 | | 17,302 |
| 営業原価 | | 15,525 |
| 営業総利益 | | 1,777 |
| 販売費及び一般管理費 | | 874 |
| 営業利益 | | 902 |
| 営業外収益 | | 190 |
| 受取利息 | 1 | |
| 受取配当金 | 83 | |
| 受取地代家賃 | 45 | |
| その他 | 60 | |
| 営業外費用 | | 79 |
| 支払利息 | 60 | |
| 持分法による投資損失 | 4 | |
| その他 | 13 | |
| 経常利益 | | 1,013 |
| 特別利益 | | 4 |
| 固定資産売却益 | 4 | |
| 特別損失 | | 55 |
| 固定資産除却損 | 55 | |
| 税金等調整前四半期純利益 | | 962 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 138 | |
| 法人税等調整額 | 166 | |
| 四半期純利益 | | 657 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | | △ 1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | | 658 |

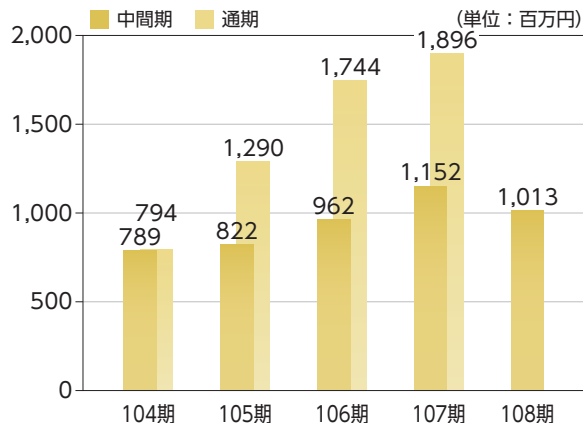
(百万円未満切捨)

財務データ

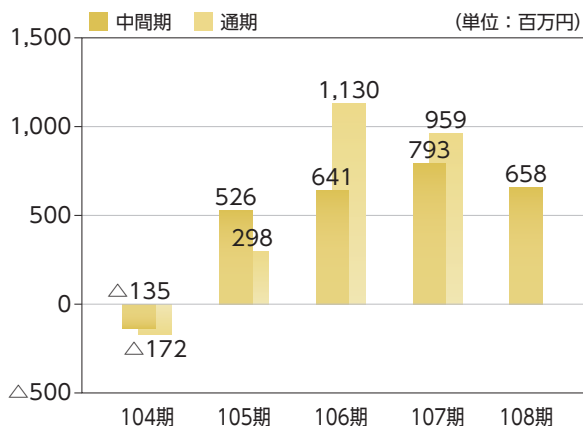
営業収入



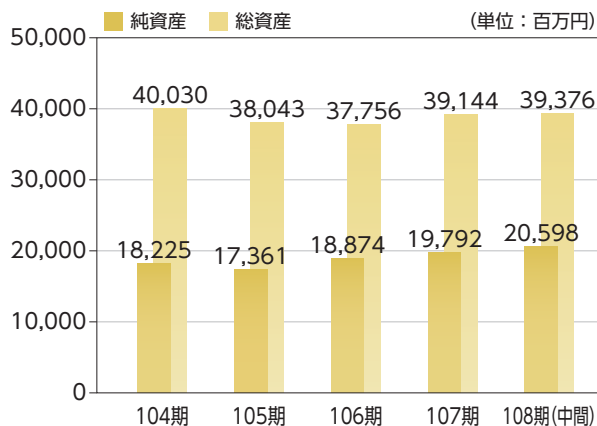
経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



純資産／総資産



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を108期の期首から適用しており、107期以前の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 25,830,000株
 発行済株式総数…………… 7,740,000株
 株主数…………… 6,106名
 大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|----------------------|-------|-------|
| 第一生命保険株式会社 | 669千株 | 8.66% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 514 | 6.65 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 342 | 4.43 |
| 株式会社みずほ銀行 | 342 | 4.43 |
| 朝日生命保険相互会社 | 266 | 3.45 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 215 | 2.78 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 207 | 2.69 |
| 太陽生命保険株式会社 | 200 | 2.59 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 198 | 2.56 |
| 山内正義 | 178 | 2.31 |

(注) 1. 持株比率は自己株式 (18,907株) を控除して計算しております。
 2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で、行名を株式会社三菱UFJ銀行に変更しております。

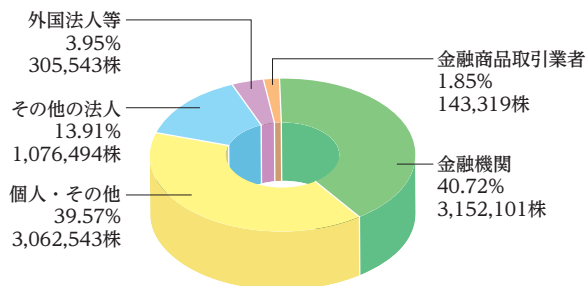
会社の概要 (平成30年9月30日現在)

商号 東洋埠頭株式会社
 創業 昭和4年5月
 資本金 82億6,082万3,456円
 従業員数 289名 (当社グループ750名)

役員及び執行役員 (平成30年9月30日現在)

| | |
|------------------------------------|---------|
| 代表取締役社長 | 原 匡 史 |
| 取締役役員 (経理部長) | 萩 原 卓 郎 |
| 常務執行役員 (川崎支店長兼港運部長) | 西 修 一 |
| 取締役役員 (大阪支店長、九州地区統括) | 山 口 哲 生 |
| 執行役員 (東扇島支店長、倉庫・運輸統括、鹿島支店管掌) | 鈴 木 康 司 |
| 取締役役員 (業務部長、青果営業部、経営企画部、国際営業部管掌) | 三 上 慎 治 |
| 執行役員 (株式会社東光コンサルタンツ代表取締役社長) | 堀 尚 義 |
| 取締役 | 高 沢 由 二 |
| 監査役 (常勤) | 露 木 繁 夫 |
| 監査役 (第一生命ホールディングス株式会社代表取締役副会長執行役員) | 吉 野 保 則 |
| 監査役 (株式会社ファルテック) 監査役 (社外) | 坂 本 啓 則 |
| 執行役員 (総務部長兼情報システム部、業務監査部担当) | 大 野 武 一 |
| 執行役員 (東京支店長) | 地 曳 高 士 |
| 執行役員 (志布志支店長) | |

所有者別株式分布状況 (平成30年9月30日現在)

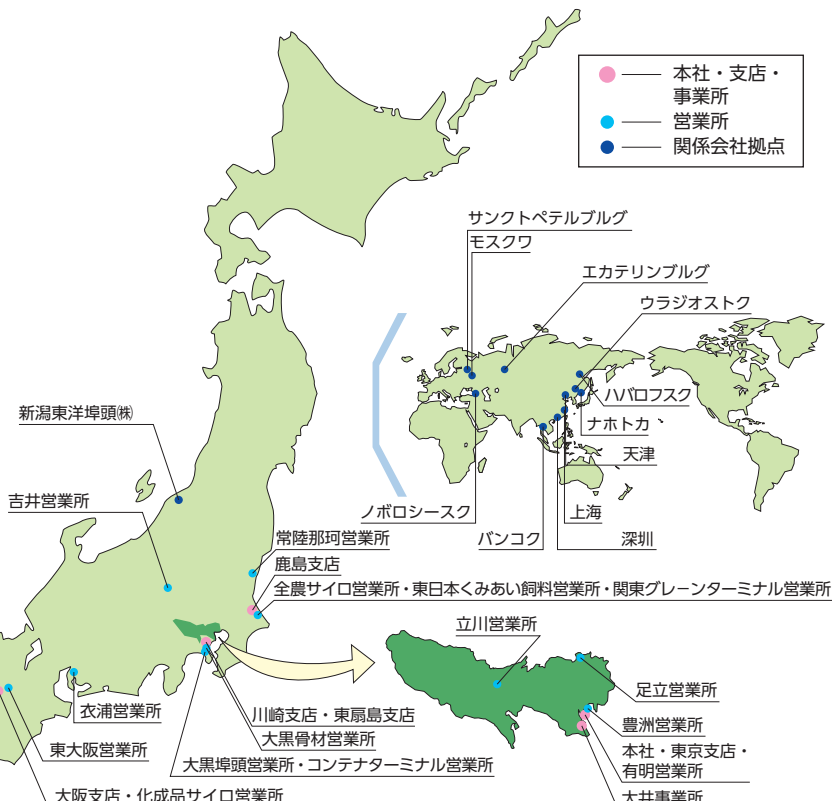


(注) 自己株式18,907株は「個人・その他」に含めております。

東洋埠頭ネットワーク

本社および事業所

- ◇ 本社 東京都中央区晴海1丁目8番8号
〒104-0053 電話 (03) 5560-2701
- ◇ 東京支店 東京都江東区有明4丁目3番22号
〒135-0063 電話 (03) 6426-0371
(営業所) 有明、立川、足立、吉井(群馬)
板橋倉庫、青海倉庫
- ◇ 川崎支店 神奈川県川崎市川崎区扇町13番1号
〒210-0867
電話 埠頭部 (044) 333-3521
青果部 (044) 366-2121
(営業所) 豊洲(東京)、大黒骨材
- ◇ 東扇島支店 神奈川県川崎市川崎区東扇島27番地1
〒210-0869 電話 (044) 266-5516
(営業所) 大黒埠頭(横浜)、コンテナターミナル
- ◇ 大阪支店 大阪府大阪市此花区梅町2丁目4番72号
〒554-0032 電話 (06) 6466-1040
(営業所) 化成品サイロ、東大阪、衣浦(愛知)
- ◇ 博多支店 福岡県福岡市博多区沖浜町5番33号
〒812-0031 電話 (092) 281-3464
(営業所) 須崎、那の津
(船センター) 香椎、久留米
- ◇ 鹿島支店 茨城県神栖市砂山2626番地3
〒314-0255 電話 (0479) 46-1521
(営業所) 全農サイロ、東日本くみあい飼料、
関東グリーンターミナル、常陸那珂
(船センター) 波崎、神の池
- ◇ 志布志支店 鹿児島県志布志市志布志町志布志3267番地1
〒899-7103 電話 (099) 473-2310
(営業所) 新若浜、若浜、全農サイロ、鹿児島、宮崎
- ◇ 大井事業所 東京都大田区東海6丁目1番5号
〒143-0001 電話 (03) 3790-4001



関係関連会社

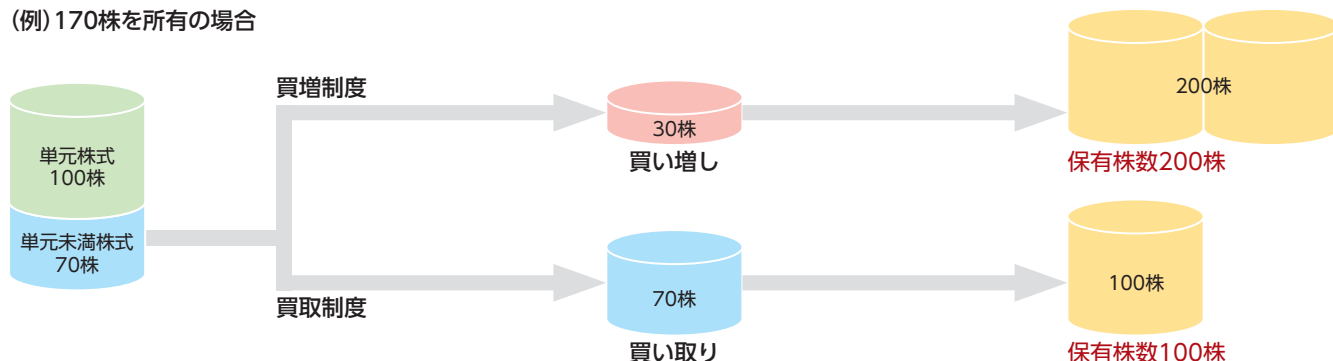
- 連結子会社 (株)東洋埠頭青果センター、(株)東洋トランス、東京東洋埠頭(株)、
鹿島東洋埠頭(株)、志布志東洋埠頭(株)、東永運輸(株)、
OOO東洋トランス(モスクワ)、OOOTB東洋トランス(モスクワ)
- 非連結子会社 (株)ティーエフ大阪、板橋共同作業(株)、シビル・ポートサービス(株)
- 関連会社 東光ターミナル(株)、坂出東洋埠頭(株)、(株)オーエスティ物流、
新潟東洋埠頭(株)、上海青旅東洋物流有限公司(上海)、
スリタイ東洋ロジスティクス社(バンコク)

※1 OOO東洋トランス、OOOTB東洋トランスの2社は、(株)東洋トランス100%出資の子会社です。
※2 太字は持分法適用会社です。

単元未満株式を所有されている株主様へのご案内

当社の株式は1単元が100株となっております。証券市場では1単元が取引単位となっており、100株未満の株式を売買することはできません。単元未満株式を所有されている株主様には単元未満株式の買増・買取制度がご利用いただけます。

(例) 170株を所有の場合



買増制度 株主様の所有されている単元未満株式と合計で1単元（100株）となる数の単元未満株式の買い増しを、当社にご請求いただく制度です。

買取制度 株主様の所有されている単元未満株式の買い取りを、当社にご請求いただく制度です。

お手続の詳細に関しましては、株主様の所有されている当社株式が、証券口座に記録されている場合はお取引のある証券会社に、特別口座に記録されている場合は、当社特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社へお問い合わせください。

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。株主様はお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出ください。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)

株式についてのご案内

| | |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 4月1日から翌年の3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 基準日 | 3月31日 |
| 配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 公告掲載URL | http://www.toyofuto.co.jp |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 郵便物送付先 および電話連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料) |
| 上場金融商品取引所 証券コード | 東京証券取引所 (第一部) 9351 |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<お知らせ>

株式事務に関するお問い合わせ (三菱UFJ信託銀行 証券代行部)
お問い合わせ 0120-232-711 (通話料無料)
ホームページURL <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ホームページのご案内

当社ホームページにおきまして、最新のIR情報や各支店・事業所および関係会社の流通施設・業務内容など、詳細な会社情報をご案内しております。

<http://www.toyofuto.co.jp>



東洋埠頭株式会社

〒104-0053 東京都中央区晴海一丁目8番8号
(晴海トリトンスクエア)
TEL 03-5560-2701 (代)

